

事業報告書

団体名：特定非営利活動法人プロジェクト保津川

1. メニュー名	(1) スタート事業 該当するメニューを○で閉んでください (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	かめおかプラスチックごみゼロ宣言～みんなで考える亀岡の未来
3. 実施場所	ガレリアかめおか
4. 実施期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
5. 目的と課題	支援金申請書に書いた、申請事業の目的と設定した地域の課題を改めて記入してください。

亀岡市内を流れる保津川（桂川）は、ごみの大量漂着や水質悪化など河川環境の悪化が深刻化し、国の天然記念物アユモドキが生息するなど希少な生態系への影響が懸念されるとともに、保津川下りなど観光産業にも大きな影響を与えており、その環境保全が大きな課題となっている。こうした中、2018年12月に発表された「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」をふまえて、今年3月には全国初のレジ袋使用禁止条例が成立するなど、亀岡市における使い捨てプラスチックごみ削減の取り組みは国内外から大きな注目を集めることとなった。さらに、新型コロナウイルス感染拡大により大きな打撃をうけた飲食店の支援とプラスチックごみ削減を両立したクーポンなど、亀岡市内における取り組みは大きな進展を見せているが、一方で依然として事業者や住民へのプラスチックごみ問題対策の必要性が十分に理解されているとはいいがたい状況にある。保津川および支流域においても、レジ袋をはじめとしたプラスチックごみの大量漂着は続いており、当団体が毎月実施している「保津川クリーン作戦」においても、2019年度は1.13トン（かさ容量）のごみが回収され、また依然としてレジ袋がもっとも多い状況が続いている。

保津川の景観を守り、海洋プラスチック汚染を防ぐためには、プラスチックごみの発生抑制は急務であり、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨を広め、市民意識の向上をはかり、生活に深く入り込んだ使い捨てプラスチック製品の大量消費という生活習慣を改める必要がある。

6. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。（実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など）
---------	-------------------------------------------------------------

本事業は亀岡市環境政策課および亀岡市環境クリーン推進課と連携して取り組んだ。

シンポジウム「川から考えるみんなの未来」（令和2年11月29日、ガレリアかめおか）

プラスチック汚染やごみの削減を考えるシンポジウムを開催した。なお、シンポジウムは新型コロナウイルス感染症対策として、来場者の検温や手指消毒、名簿記入のほか、オンラインでの配信も併用した。

基調講演では、特定非営利法人ゼロ・ウェイスト・ジャパン代表理事の坂野晶さんより、「脱プラスチック、世界は今。～世界の課題に地方から挑戦する～」というテーマで、世界各地のコミュニティーでの取り組みを紹介して頂きながら、坂野さんが取り組まれた「ごみをゼロにしていこう」という活動についてお話いただいた。

また、事例報告として、普川 玲（スターバックスコーヒージャパン株式会社購買部 エシカルソーシング・サステナビリティチームマネージャー）さんからは、スターバックスのプラスチック削減の取り組みについてご紹介いただいた（オンラインで参加）。おなじく事例報告として、無料給水アプリ mymizu マクティア マリコ（一般社団法人 Social Innovation japan/mymizu 代表理事 共同創業者）さんからは、アプリを利用した mymizu が社会に浸透することの意義を紹介して頂いた。

最後に、前亀岡市副市長仲山徳音さんもまじえて、パネルディスカッションと質疑応答をおこなった。会場の参加者は100名、またオンラインでの視聴者は700人を超えた。

参加者との意見交換では「行動が未来を変える。自分がやりたいことすることで社会が変わる。」「今の行動が20年後、30年後につながる。」「自信を持って行動。身近な幸せにつながる行動する。」「一人では難しい。仲間を集めて行動する。」といったことが話された。

なお、当日はプラスチックごみ削減に配慮した「エコ屋台」もあわせて開催し、市内で積極的に脱プラスチックに取り組む各店舗が出店した（エコ屋台出店者：Café de MOTHERS（ローストビーフ丼）、亀山ホルモン（ホルモンうどん・からあげ）ネコのしっぽ（デニッシュ）、天ぶら さくら（あげもの・アメリカンドッグ）、くらしごと Labo（新鮮野菜直売）、aco wrap（みつろうラップ）、fellce（ハンドメイド雑貨）当日は、本事業によるシンポジウムあと、同会場で午後にはさかなクンのシンポジウムが開催されたこともあり、多数の来場者で賑わい、リユース食器の情報発信も効果的に行えた。

※ペイントイベントは新型コロナウイルス感染症の拡大により中止した。

7. 成果と課題

事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。

令和3年1月からのプラスチック製レジ袋提供禁止条例施行にむけて、あらためてその意義を考えるとともに、プラスチックごみゼロの発生抑制に向けて、国内外の先進事例について学び、企業やNGO、自治体の連携のあり方を考える良い機会となった。

特に、今回のシンポジウムには親子連れ、中・高・大学生といった若い世代の参加が多く、プラスチック汚染の防止に向けて人々の関心を高め、幅広い市民や企業がかかわる機運の情勢が図れたと考えている。

また使い捨てプラスチックを使用しない飲食イベントであるエコ屋台の開催を通じて、ごみ削減を実践する「リバー・フレンドリー・レストラン」プロジェクトに向けた課題の抽出や飲食事業者の意見を集める機会とすることができた。

さらに、今回は新型コロナウイルス感染症対策の一環として、当団体としては初めての試みとなるオンラインでのシンポジウムの同時配信をおこなった（登壇者のうち、普川氏、仲山氏はZOOMで参加）。当日はYouTubeで同時配信するとともに、収録映像をYouTubeチャンネルで配信しているが、オンラインでの参加者数（視聴者数）は700人を超え、予想を超える参加者があり、当団体にとってもその後のオンラインイベントの開催に向けた貴重な経験となった。

また、シンポジウム開催後は、当団体主催の清掃イベントへの若い世代の参加が増えたことも大きな収穫である。

<p>一方で、新型コロナウイルス感染症の再拡大にともない、ごみ収集車へのペイントイベントは中止となった。小学生とその保護者を対象にしたイベントであり、多数の市民の参加が見込め、ごみ問題の啓発にも効果の非常に大きいものと考えていたため、残念であるが新型コロナウイルス感染症の収束後に改めて開催し、「環境先進都市」の実現に向けた機運をさらに盛り上げたい。</p>	
<p>8. 今後の展開</p>	<p>事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。</p> <p>シンポジウムおよびエコ屋台を通じて、プラスチックごみ削減にむけた事業者との議論も進み、プラごみの削減に取り組む飲食店の認証制度である「リバー・フレンドリー・レストラン」が令和3年度に始まる予定である。当団体としても、事業者とNPO、行政が資金面も含めて相互に支援・協力できる仕組みの構築に引き続き取り組む。また、本取り組みに関しては、引き続き米 Surfrider Foundation の助言のもと取り組み、海外も含めて情報を発信することで市内飲食店の支援につなげる。なお、ライ麦ストローについては、市民有志での試作がすでに行われており、次年度以降の本格的な事業化に向けて、取り組みを継続する。</p>
<p>9. 協働の効果</p>	<p>今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。</p> <p>※市民連携事業に関わらず、他団体との関わりがあった場合は記入してください。</p> <p>本事業は亀岡市環境政策課および亀岡市環境クリーン推進課と連携して取り組んだ。このことにより、市の広報を通じて当団体会員だけではない幅広い市民に事業を告知できた。また、シンポジウムに向けて市内飲食店事業者と、市の両課もまじえて、リバー・フレンドリー・レストランの具体化に向けた議論の場を持つこともできた。さらに、シンポジウムで事例報告をしていただいた mymizu と亀岡市は令和3年4月にパートナーシップ協定を締結する予定であるだけでなく、シンポジウムにも参加した南丹高校生による mymizu スポットの拡大の取り組みが始まるなど、興味深い取り組みも進んでいる。</p> <p>今後も、引き続き本事業を通じて、市内諸団体や行政機関との連携を深めるとともに、保津川流域の環境保全に資することをめざしたい。</p>

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料がある場合は添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

川から考える みんなの未来

「世界に誇れる環境先進都市」を目指し、世界最先端の環境保全の取り組みを学び、市民のみなさんと亀岡のこれからのを考えるシンポジウムを開催します。



坂野 晶

一般社団法人
ゼロ・ウェイスト・ジャパン
代表理事



普川 玲

スターバックスコーヒー ジャパン株式会社
エシカルソーシング
サステナビリティチーム
マネージャー



マクティア マリコ

一般社団法人
Social Innovation Japan/mymizu
代表理事・共同創業者



仲山 徳音

市政アドバイザー
亀岡市 前副市長



原田 禎夫

特定非営利活動法人
プロジェクト保津川代表理事
大阪商業大学公共学部 准教授

11/29 日
10:00-12:30

入場無料・先着300名まで

コロナ対策として検温・アルコール消毒を行っています。

ガレリアかめおかコンベンションホール
〒621-0806 京都府亀岡市余部町宝久保1-1



シンポジウムライブ配信!
PC・スマホでご覧いただけます!
project hozugawa



エコ屋台

亀岡の人気店が大集合!

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| Café de MOTHERS
ローストビーフ重 | 天ぶら さくら
あげもの・アメリカンドック |
| 亀山ホルモン
ホルモンうどん・からあげ | くらしごと Labo
新鮮野菜直売 |
| ネコのしっぽ
デニッシュ移動販売 | aco wrap
みつろうラップ |
| 飲食店ではリユース食器を使用しています。 | felice
ハンドメイド雑貨 など |

同日開催



入場無料 かめおかプラごみゼロ講演会
おしえてさかなクン!
お魚と環境のおはなし

14:00 開始 13:00 開場
事前申込
定員 300名
申込締切 11月16日 必着

亀岡市環境市民部環境政策課 TEL:0771-25-5024
市役所に備え付け、又は市ホームページに掲載している申込書を、市役所1階8番窓口にご持参いただくか、メール又はFAXもしくは郵便でお送りください。



基調講演 / パネリスト

坂野 晶

一般社団法人
ゼロ・ウェイスト・ジャパン
代表理事

兵庫県西宮市生まれ。日本初の「ゼロ・ウェイスト」宣言を行った徳島県上勝町にて、ゼロ・ウェイストタウン計画策定や実装、ゼロ・ウェイスト

認証制度の設立、企業との連携事業など政策立案や事業開発を行った。2020年より国内外へ取組を展開するため(一社)ゼロ・ウェイスト・ジャパンを設立し、活動中。2019年世界経済フォーラム年次総会(通称ダボス会議)の共同議長。



パネリスト

普川 玲

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
エシカルソーシングサステナビリティチーム
マネージャー

スターバックスコーヒージャパン株式会社 サプライチェーン本部 購買部 エシカルソーシング・サステナビリティチームマネージャー。慶應義塾大学環境情報学部卒業。2005年にスターバックスに入社。2007年より食品リサイクルや社内の環境教育など環境への取り組みを担当。店舗でコーヒー抽出後の豆かすを牛の乳酸発酵飼料や野菜を育てるたい肥として再資源化。この飼料を用いて育てられた乳牛のミルクや、たい肥で育てられた野菜をスターバックスのドリンクやサンドイッチの原材料として用いるリサイクルを実施中。



パネリスト

マクティア マリコ

一般社団法人
Social Innovation Japan/mymizu
代表理事 共同創業者

ロンドン大学卒。中日新聞社ロンドン支局を経て、2014年に駐日英国大使館の国際通商部勤務。日英両国間のイノベーションを促進すると共に、フリーランスとして社

会的企業でのプロボノやコンサルティングに取り組む。日本において社会の深刻な課題に取り組むビジネスを増やすため、2017年一般社団法人 Social Innovation Japanを設立。その一環としてペットボトルの削減をミッションにした日本初の無料給水プラットフォーム mymizu を立ち上げる。サーキュラーエコノミーを促進する Circular Economy Clubの東京担当も担う。

パネリスト

仲山 德音

市政アドバイザー
亀岡市 前副市長

東京大学法学部卒。2011年から官僚として働き、2016年から2年間官費留学生として中国の清華大学金融学院で経済・金融を学んだ後、仏 INSEAD 経営大学院で MBA 取得。留学中に「官僚だからこそ得られた知識・経験・人脈を日本の地域社会のために活かしたい」と内閣府の地方創生人材支援制度に応募。2018年7月から京都府亀岡市地方創生担当部長に出向、2019年7月から2020年7月まで副市長として勤務。



コーディネーター

原田 禎夫

特定非営利活動法人
プロジェクト保津川代表理事
大阪商業大学公共学部 准教授

1975年京都府亀岡市生まれ。亀岡市生まれ現在、大阪商業大学公共学部准教授。近年深刻な問題となっている海や川のプラスチック汚染について、内陸部からのごみの発生抑制の観点から取り組むとともに、京都・保津川をフィールドに筏流しの復活や天然鮎の復活、内水面漁業の振興など川の文化の再生と伝承に取り組んでいる。



午前の部

9:30

開場

10:00

基調講演

脱プラスチック、世界は今。
～世界の課題に地方から挑戦する～

事例報告

スターバックス・ジャパン
無料給水アプリ mymizu

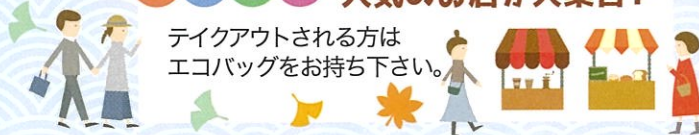
パネルディスカッションでは皆さんと一緒に、これからの私たちの暮らしを考えます。

休憩

12:00

エコ屋台 人気のお店が大集合!

テイクアウトされる方は
エコバッグをお持ち下さい。



午後の部

13:00

開場

14:00

おしえてさかなクン!
お魚と環境のおはなし

15:30



特定非営利活動法人

プロジェクト保津川

京都府亀岡市追分町谷筋 37-21 ふらっと HOUSE
TEL/FAX : 0771-20-2569 MAIL : info@hozugawa.org



プロジェクト保津川チャンネル

project hozugawa

YouTube 生ライブ配信は10:00～12:00の間でお届けいたします。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT



プロジェクト保津川は持続可能な
開発目標 (SDGs) を支援しています